

委員会設置提案書

提案者（理事名） 原 和彦

委員会の名称	マルチコプターによる大空間の照度測定に関する研究調査委員会
英文表記	Research Committee on illuminance measurement of huge space with quadcopter
事業部門	照明に関する研究・調査・助成事業
関連常置委員会名	分科会運営委員会
設置の趣旨	高所を含む大空間の光環境の測定は、これまでバルーンや高所作業車が利用されてきたが、近年マルチコプターを用いた方法が検討されている。近い将来、マルチコプターを用いた照度測定が一般化することが想定されるが、現状の問題点として、移動測定による照度の誤差、マルチコプターの位置の誤差、自動操縦の場合の経路の誤差等が考えられ、これらの点を学会の場で検討した上で基準化に向けた活動を行う必要がある。そこで本委員会では、現状のJISで定められた照度測定法について検討を行った上で、すでに提案されているマルチコプター利用の照度測定例の調査、マルチコプターの特性の把握、照度計の特性の把握を行い、マルチコプターを用いた大空間の照度測定に関する指針を設けることを目的とする。このため、委員会のメンバーは大学や企業の研究者・大空間の照度測定に従事する実務者に加え、マルチコプターや照度計のスペシャリストにも参加を募ることとする。
予測される成果	現状における問題点を明らかにした上で、その時点の技術を用いた測定方法の指針を策定する予定である。
成果のフォローアップ（会員への還元）	委員会活動終了後に報告書を作成する。また、公開研究会を開催し、委員会活動により得られた成果を報告する。
委員会の構成（氏名：所属）	委員長（予定者）鈴木広隆（神戸大学） 幹事（予定者）山田哲司（岩崎電気株式会社）、秋月有紀（富山大学） 委員（予定者）岩田三千子（摂南大学）、中田耀介（株式会社T&T）ほか10名程度
設置期間	2022年4月～2025年3月
委員会開回数／年	4回程度
活動計画	1. 現状のJISで定められた照度測定法についての検討 2. 提案されているマルチコプター利用の照度測定例の調査 3. マルチコプターの特性の把握 4. 照度計の特性の把握
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	■有（理由：非会員であり、調査委員会として技術的なサポートを受ける関係にあるため） 支給対象者名 中田耀介（株式会社T&T） 支給予算額 □無
備考	
理事会の承認	承認 年 月 日